

NEC Express5800/110Rb-1h

はじめにお読みください

Startup Guide

スタートアップガイド

2008年7月 第2版

箱を開けてから本製品が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

安全に関するご注意
 セットアップする前に「使用上のご注意」または「ユーザーズガイド」の以下の項をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。
 「安全にかかわる表示について」
 「使用上のご注意 ～必ずお読みください～」

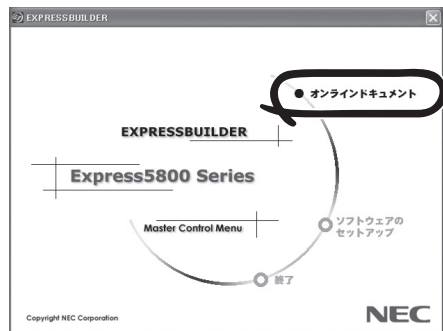
警告
 ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
 ●内蔵型オプションの取り付け・取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
 ●雷が鳴り出したらケーブル類を含め本体に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
 ●「ユーザーズガイド」に記載されている内容を除き、分解・修理・改造を行わないでください。

注意
 ●持ち運びの際は本体の底面をしっかりと持って運んでください。
 ●水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
 ●装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
 ●電源コードは指定の電圧、アース付きのコンセントに接続してください。
 ●電源コードはたご足配線にしないでください。

ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」CD-ROMの中に格納されています。ユーザーズガイドはAdobe Readerで閲覧できるPDFファイルで、以下の手順で表示・印刷することができます。

- ① コンピュータの電源をONにする。
- ② 添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをコンピュータのDVD-ROMドライブにセットする。
自動的に「マスターコントロールメニュー」が表示されます。開かないときは「<DVD-ROMのドライブレータ>: ¥MC¥1st.EXE」を実行してください。
- ③ 「マスターコントロールメニュー」の「オンラインドキュメント」をクリックする。



ユーザーズガイドでは、本製品を安全に取り扱うための注意事項やStartup Guideでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときのトラブル回避の手だてやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

PDFファイルを閲覧するためには、Adobe Readerの日本語版が必要です。Adobe Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます(<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>)。

またユーザーズガイドは、NECのWebサイトからダウンロードすることもできます(<http://nec8.com/>→[サポート情報]をクリックしてください)。

Step 1 添付品を確認する

- 本体
- 電源コード× 1
- EXPRESSBUILDERパッケージ*1
- スタートアップガイド(本書)*2
- マウントイヤー(一式)
- ハードディスクドライブ取り付けネジ× 8*3
- ハードディスクドライブ取り付けワッシャ× 2*3
- お客様登録申込書
- 保証書 (本体梱包箱に貼り付けられています)

重要 ● 添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMは、セットアップ(または再セットアップ)の時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

● 上記添付品は、本体のみのものです。スタートアップパックやビルド・トゥ・オーダー(BTO)製品などは「組み込み製品・添付品リスト」をご確認ください。

- *1 EXPRESSBUILDERパッケージの内容についてはEXPRESSBUILDER内の添付品一覧を参照してください。
- *2 ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」CD-ROMの中に格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のPCへインストールしておいてください。
- *3 ご購入になった本体装置構成により、本体に実装されている場合があります。

Step 2 内蔵オプションを取り付ける

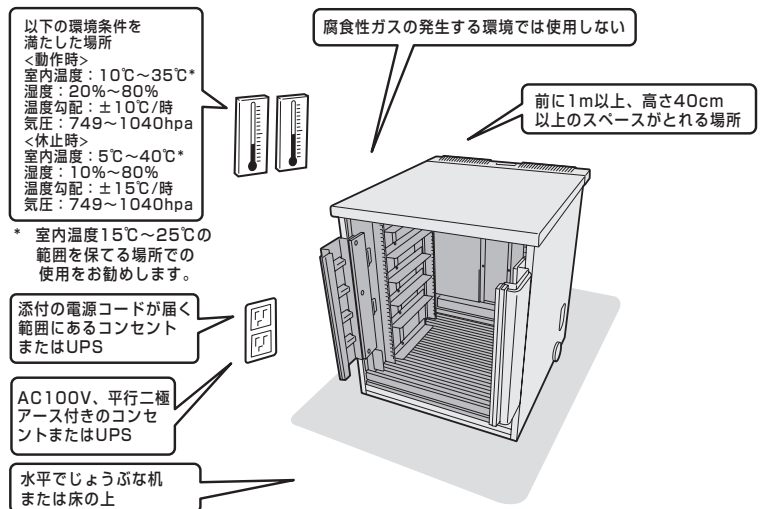
本体内蔵用のオプションを取り付けます(オプションを購入していない場合や「ビルド・トゥ・オーダー(BTO)」で本製品を購入されたお客様はステップ3へ進んでください)。

参照 「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。また、インストールするOSによっては、一部ハードウェアの制限があります(BTOモデルを除く)。「ユーザーズガイド」の「導入編」を参照して注意事項を確認してください。

Step 3 ラックを設置し、本製品を取り付ける

本体はEIA規格に適合した13型オフィスラックに設置して使用します。ラックへの設置について、次の条件を守ってください。

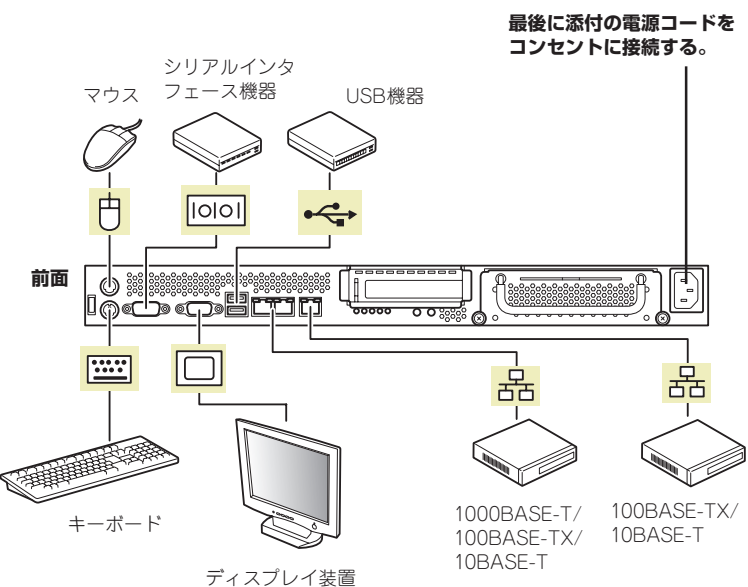
参照 ラックの設置および本体のラックへの設置については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。



Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本体に接続します。

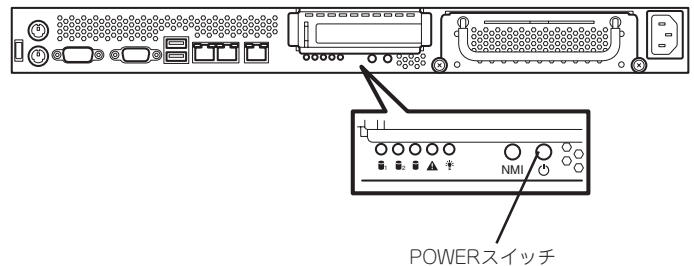
参照 「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。



Step 5 電源をONにする

前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。

重要 Step 6に示す手順を行う必要のない場合は、電源をONにする前にStep 7をご覧ください。お買い求めになられたモデルによっては、電源のON後、すぐにシステムのセットアッププログラムが起動したり、添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを使ってセットアッププログラムを起動しなければならない場合があります。



Step 6 BIOSの設定を変更する

ご使用になる環境に合わせてBIOS(Basic Input Output System)の設定を変更します。

参照 操作方法や設定の詳細については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください(日付や時間が正しく設定されていることを確認してください)。

システムBIOSの設定変更

オプションのUPS(無停電電源装置)を接続している場合や、管理ソフトウェアとの機能の連携をする場合にシステムBIOSの設定を変更します(通常は出荷時の状態でも問題ありません)。設定を変更するためにBIOSセットアップユーティリティ「SETUP」を起動します。

- ① 電源をONにした後、「NEC」ロゴが画面に表示されたら、<ESC>キーを押す。
- ② 次のメッセージが画面左下に表示されるまで待つ。

Press <F2> to enter SETUP

- ③ <F2>キーを押す。

「SETUP」ユーティリティが起動して、Mainメニュー画面が表示されます。

Step 7 システムをセットアップする

本装置をお使いになれる状態にセットアップします。

OSがインストール済みのモデルで初めて電源をONにする場合

本体の電源をONにするとWindowsのセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って必要な設定をしてください。

重要 グラフィックスアクセラレータドライバは自動的にインストールされません。ユーザーズガイドを参照し手順に従ってインストールしてください。

OSがインストールされていないモデルの場合・再インストールの場合

インストールには、添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを使います。電源をONにする前にEXPRESSBUILDERとFD使用の場合は1.44MB・DOSフォーマット済みのフロッピーディスクを用意してください。

参照 EXPRESSBUILDERの詳細については「ユーザーズガイド」の「ソフトウェア編」、または本書の裏面を参照してください。

重要 対応コントローラの確認は、コントローラに添付のセットアップ手順書、またはユーザーズガイドを参照してください。

- ① 本体の電源をONにする。
- ② 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを本体のDVD-ROMドライブにセットする。
- ③ <Ctrl>キーと<Alt>キーを押しながら<Delete>キーを押して再起動する。

本装置はDVD-ROMドライブにセットしたEXPRESSBUILDERから起動します。

- ④ [シームレスセットアップ]をクリックする。

- ⑤ メッセージが表示されるので、パラメータファイルを使用する場合は「はい」を、使用しない場合は「いいえ」を選択する。

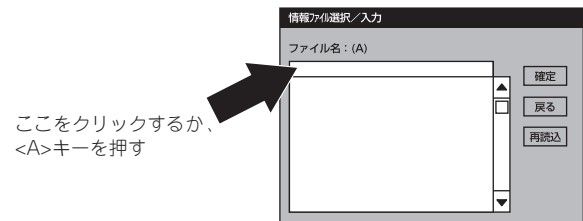
メッセージに従って作業を進めてください。
パラメータファイルを使用する場合はセットアップパラメータFDが要求されます。
フロッピーディスクをセットして「確認」を選択してください。(パラメータファイルを使用しない場合は手順⑦へ進んでください。)

【既存のパラメータファイルを使用する場合】

- (1) インストールに使用するパラメータファイルを選択する。
確認のダイアログボックスが表示されます。
- (2) パラメータを確認する場合は「確認」を、確認せずにそのままインストールする場合は、「スキップ」をクリックする。
「確認」をクリック→手順⑥へ進む。
「スキップ」をクリック→手順⑦へ進む。

【空きフロッピーディスクをセットした場合】

- (1) [ファイル名:(A)]の下にあるボックスをクリックするか、<A>キーを押す。
入力ボックスが表示されます。



- (2) ファイル名を入力する。
- ⑥ OSのインストール中に設定する内容を確認する。

- ⑦ インストールするオペレーティングシステムを選択する。
リストボックスから「Windows」を選択します。

- ⑧ 画面の指示に従って必要な設定をする。

必要な設定の入力後、自動的にセットアップが始まり、オペレーティングシステムや設定したソフトウェアがインストールされます。

重要 グラフィックスアクセラレータドライバは自動的にインストールされません。ユーザーズガイドを参照し手順に従ってインストールしてください。

ここで示す手順で作成したフロッピーディスクは「セットアップパラメータFD」といいます。「セットアップパラメータFD」は、EXPRESSBUILDERと一緒に大切に保管しておいてください。再セットアップの際にこのフロッピーディスクを使用すれば、以前と同じ状態で自動でセットアップすることができます。

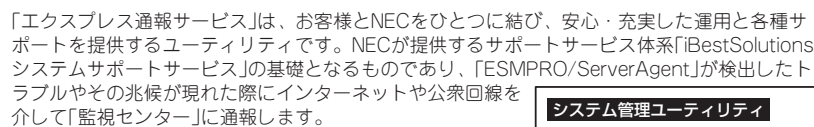
障害処理のためのセットアップ

本装置内のメモリダンプ(デバッグ情報)を採取するための設定方法について説明します。詳細やその他の設定については、「ユーザーズガイド」の「導入編」-「障害処理のためのセットアップ」をご覧ください。

Step 8 EXPRESSBUILDERを使ったセットアップをする

添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに各種ユーティリティが格納されています。これらはExpress5800シリーズが提供するシステム全体の運用管理を行うためのユーティリティです。TCO(Total Cost of Ownership)の削減、重大障害の未然防止、障害からの早期復旧を実現するために、EXPRESSBUILDERを使ってご使用になる環境に合った状態にセットアップしてください。
ここでは、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMにある各種ユーティリティについて紹介します(OSがインストール済みのモデルではあらかじめこれらのユーティリティもインストールされているものがあります)。

参照 「ユーザーズガイド」の「ソフトウェア編」またはオンラインドキュメントを参照してインストールやセットアップをしてください。ここで記載されていないユーティリティについては、ユーザーズガイドまたはオンラインドキュメントで説明しています。



これを受け、「監視センター」は、全国430か所以上にあるNECフィールドインジニアの保守サービス拠点のうち、もよりの拠点に指示を出し、サービスエンジニアがユーザー先へ出向いてトラブルの未然回避や復旧処置を行います。なお、ご利用に際しては、別途有償のハードウェア保守契約か、通報サービス契約が必要です。

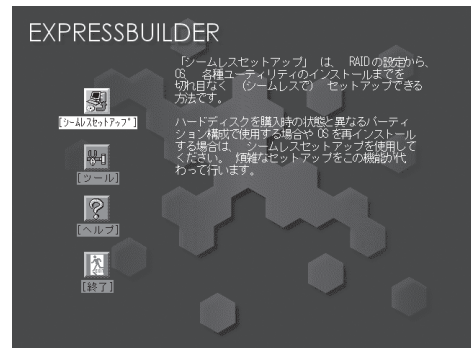
ディスクアレイコントローラや本体装置内蔵のアレイディスクの状態を監視・保守するユーティリティ。本体標準装備のHostRAIDに対してはAdaptec Storage Managerを使用します。Promise社製コントローラに対しては、Web-based Promise Array Managerを使用します。

一装置のさまざまな障害情報を収集し、状態の判定を行い異常を検出すると、ESMPRO/ServerManagerへアラート通報を行います。
一障害の予防対策として、事前に障害の発生を予測する予防保守機能をサポートしています。筐体内温度上昇やハードディスクドライブ劣化などを事前に検出できます。
一装置の詳細なハードウェア構成情報、性能情報を取得できます。取得した情報はESMPRO/ServerManagerを通してどこからでも参照できます。

ESMPROはサーバシステムの安定稼働と、効率的なシステム運用を目的としたサーバ管理ソフトウェアです。本製品を導入することにより、装置の構成情報・性能情報・障害情報をリアルタイムに取得・管理・監視できるほか、アラート通報機能により障害の発生を即座に知ることができるようになります。

EXPRESSBUILDERについて

本装置のDVD-ROMドライブに「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットして起動すると、EXPRESSBUILDERトップメニューが表示されます。



シームレスセットアップ
セットアップパラメータFDの情報を参照して、切れ目なく(シームレスに)セットアップを行います。OSの再インストールを行う場合、こちらのセットアップ方式を選択してください。

ヘルプ
EXPRESSBUILDERについて説明します。セットアップを実行する前に一通り目を通しておくことをお勧めします。

ツール
EXPRESSBUILDERに収められている各種ユーティリティを個別に起動し、オペレータによるセットアップを行います。また、インストール済みOSに影響を与えることなくセットアップを行うことができます。

終了
EXPRESSBUILDERの終了画面が表示されます。

モデルによってはEXPRESSBUILDERの画面を管理PC上に表示させて操作することもできます。詳しくはユーザーズガイドの「ソフトウェア編」を参照してください。

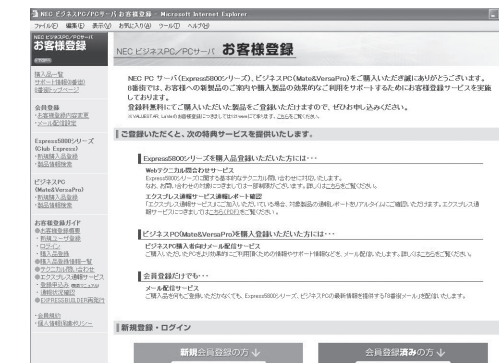
また、Windows PCにセットすると「マスターコントロールメニュー」を表示します。このメニューから各種ユーティリティのインストールなどができます。「ソフトウェアのセットアップ」にある「システムのアップデート」はサービスパックの適用の際に利用してください。

Step 9 お客様登録をする

添付の「お客様登録申込書」またはインターネット(WWW)を利用して登録を行います。

添付の「お客様登録申込書」に必要事項を記入の上、「エクスプレス受付センター」までご返送ください。返送していただいたお客様は、「ClubExpress会員」に登録させていただきます。「ClubExpress会員」は、インターネットからも登録手続きが行えます。

<http://club.express.nec.co.jp>



また、Express5800シリーズをはじめとするさまざまな製品の情報は以下のインターネット情報サイトにあります。ご覧ください。

【NEC8番街】 <http://nec8.com>

以上でExpress5800シリーズのセットアップは完了です。ご利用の環境に合わせてその他使用するアプリケーションのインストールとセットアップをしてください。
Express5800シリーズを末永くご利用ください。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

(電話番号のかけまちがいが増えています。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800(代表)

受付時間 / 9:00~12:00、13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

サービスパックの適用について

本装置にサービスパック(SP)を適用する場合は、SPを単独で適用すると起動できなくなったり、動作が不安定になったりします。十分ご注意ください。適用方法はSPの添付状況により異なりますので、ユーザーズガイドの導入編またはインターネット情報サイト「<http://nec8.com>(8番街)」を参照してください。

また、Windows Server 2003 Service Pack 1を適用する場合は、「シームレスセットアップ」または「システムのアップデート」で行ってください。装置に「Windows Server 2003 RUR 1対応(Service Pack 1)差分FD」および「Windows Server 2003 RUR 1(Service Pack 1)インストール手順書」が添付されている場合がありますが、本差分モジュールおよび手順書は使用しないでください。破棄するか、装置に添付されているほかの媒体と異なった場所に保管してください。通常、ご使用になられても次のようなメッセージが表示され、セットアップが継続できませんが、メッセージが表示されず適用された場合は、再度「EXPRESSBUILDER」CD-ROMから「システムのアップデート」を行ってください。このときサービスパックを再適用する必要はありません。

セットアップメッセージ
このWindows RURは、この装置には対応していません。
ご使用の装置を確認してください。

商標について

EXPRESSBUILDERとExpressPicnic、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Server、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2006
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。